

移転開館10周年記念

安部龍太郎さん 講演会

2025 8/23 土

14:00 ~ 15:30

場所 富山市立図書館本館 (TOYAMAキラリ)2階ロビー

対象 一般

定員 100人程度※当日先着順

講演会終了後
サイン会開催

- ▶サインは作家の著作にかぎります
- ▶当日は会場で書籍の販売があります
- ▶ご自分の本でも構いません

前田家の兄弟、利長と利常について描いた『みやびの楯』(新聞連載中)やその前作『銀嶺のかなた』(文藝春秋 2024年)に関するお話、そして北陸への思いを語っていただきます。



直木賞作家

あべ 安部 龍太郎 さん



『銀嶺のかなた(一)』
安部龍太郎/著
(文藝春秋 2024年)

1955年6月福岡県八女市(旧・黒木町)生まれ。久留米工業高等専門学校 機械工学科卒。東京都大田区役所に就職、後に図書館司書を務める。その間に数々の新人賞に応募し『師直の恋』で佳作となる。1990年に発表した『血の日本史』(新潮社)でデビュー。この作品で注目を集め「隆慶一郎が最後に会いたかった男」という伝説がうまれた。作品に『関ヶ原連判状』(新潮社)『信長燃ゆ』『等伯』(日本経済新聞出版)など多数。

同時開催 図書展示

ピックアップ作家紹介

「安部龍太郎さん」 安部さんの本の展示を行います。

- 場所：本館4階一般図書フロア
- 期間：7月23日(水)~8月29日(金)

利長と利常、その時代



主催：富山市立図書館交流行事運営委員会
(事務局：富山市立図書館 読書推進係)
富山市西町5番1号 TEL：076-461-3200



※イベントには報道機関の撮影取材が入る場合があります。